

## 講 演

### 社会科・地理歴史科・公民科におけるアクティヴ・ラーニング

－教室に社会を，教室を社会に－

広島大学大学院教育学研究科池野範男

## 構 成

- 0 問題の所在－考察の視点：社会系教科の本質と生徒の学びの質
- 1 中等社会系教育の変革に関する仮説
- 2 中等社会系教育の現状と課題
- 3 社会系教育の改革
  3. 1 改革（1）事実や知識の学びから，学びの学習，新しい社会系教育へ
  3. 2 改革（2－1）AP 教育，IB 教育
  3. 3 改革（2－2）シティズンシップ教育としての地理，歴史，公民の教育
- 4 学びの質からの改革動向の検討
- 5 結語－教室の「社会」化と生徒の学びの保証－

## 要 旨

1970 年後半以降の社会科，地理歴史科，公民科（社会系教科）の改革を振り返ってみると，21 世紀に入った近年の傾向には大きな特徴があり，①社会科の理念の実現，②学習者の活動の保証，③学習結果の表出とその達成評価を行ってきたといえる。それはアクティヴ・ラーニングの要素（能動性，協働性，学びの深さ）から検討することにより，明らかになること，またその傾向として教室の「社会」化が進んでいることを特色として指摘する。